



報告します 姉妹都市ラピッド市への中学生・高校生派遣事業

ラピッド市はアメリカ合衆国サウスダコタ州の南西に位置する、人口約6万8千人の都市です。アメリカの4人の大統領の彫刻でおなじみの「マウントラッシュモア国立記念公園」があることで有名で、アメリカ国内はもとより世界中から年間約400万人もの観光客がラピッド市を訪れています。

旧今市市で平成6年に姉妹都市の提携をして以来、市は市国際交流協会と共同で、ラピッド市とさまざまな交流を行っています。

くわしくは 観光交流課 ☎21-5196



経験を成長の糧に

7月24日(月)、市の中学生6名、高校生7名の合計13名がラピッド市へ向けて出発しました。

8月4日(金)までの12日間、マウントラッシュモア国立記念公園をはじめ、バッドランズ国立公園、クレイジーホース記念碑などの名所を訪ね、アメリカならではのスケールの大きさや、自然、文化を体験しました。

また、滞在中はラピッド市の家庭にホームステイをし、ホストファミリーやラピッド市の人々と交流を深め、充実した日々を過ごしました。

生徒たちは、積極的にアメリカでの買い物や会話、体験にチャレンジしており、言葉や文化の壁を乗り越え、短期間で成長する姿は、頼もしさと、将来への無限の可能性を感じさせるものでした。

今後とも市と市国際交流協会は、国際交流を通して、子どもたちの可能性を広げる活動を実施していきます。

★★★派遣生徒の感想文★★★

初めての海外での貴重な体験の中で、まずは印象に残った場所を紹介します。

一つ目は、マウントラッシュモアです。この場所は今回一番楽しみにしていた場所です。実際見てみると、写真などで見るよりも彫刻がとてつもなくリアルで大きく、迫力がありました。

二つ目は、バッドランズ国立公園です。昼は壮大な景色が広がり、夜は満点の星空を見ることができて最高でした。今回、一番思い出に残っている場所です。

次に、ホームステイの思い出を紹介します。初日はとても不安で緊張していましたが、ホストファミリーは空港で僕を温かく出迎えてくれました。日を重ねるごとに、自分から話しかけられるようになり、とても親密な関係を築くことができました。

最終日の朝は、ホストファミリーと過ごした10日間を思い出すと、涙が止まりませんでした。空港ではホストファミリーの皆に感謝の気持ちを伝え、またい

つか会いに来るよと約束をし、ハグをしてお別れしました。

僕は今回の派遣で、とても大きな経験をえました。また同時に、海外留学をするという大きな目標が決まりました。今回の経験を生かして、もっと英語を学び、いつか必ずホストファミリーとの再会の約束を果たしたいです。その時には成長を感じてもらえるように、今からしっかりと勉強したいです。

最後に、今回の派遣に行くことが出来たのは、国際交流協会の皆さんや現地の皆さん、家族のおかげだと思っています。その人たちに、感謝の気持ちを忘れずに一生の思い出として心に刻みたいです。



今市高等学校1年 見目 天空 (ラピッド市長と記念撮影)